

第20回東関東吹奏楽コンクールに出場しました

9月6日に行われた第20回東関東コンクールに、本校の吹奏楽部が初出場しました。本校の吹奏楽部は昨年から高校A部門へ挑戦してきました。

栃木県吹奏楽コンクール高校A部門で金賞を獲得し、夢の大舞台である東関東コンクール。結果は銅賞でしたが、部員のみなさんは「今回の出場で成長し、来年の目標が見えた」と晴れ晴れしい表情でした。右の新聞記事は、朝日新聞に掲載された記事です。

吹奏楽部のみなさん、来年のコンクールに向けてこれからも毎日の練習に励んでいってください。

2014年(平成26年)9月7日

挑戦2年目 成長できた

宇都宮短大付、銅

卒業生と混成で「職場・一般」の部に出場していた宇都宮短期大学付属高は、昨年から高校A部門に挑戦している。今年は初めて東関東大会に進み、銅賞を受賞した。

応援に駆けつけた昨年の部長、坂本七海さん(18)は「一般部門のときは卒業生に頼ってしまって、自発的に取り組む姿勢がなかった。私たちの代が築いたものを引き継いで、今年もがんばってくれた」と話す。

夢の大舞台。気負いがあったという。「東関東大会に出ると決まった時、壁は巨大で恐ろしいと感じた。賞の色よりも、普段の練習で積み重ねたものを本番で発揮することを目標にしてきた」と、学生指揮者でコントラバスの見川泰月さん(3年)は言う。部長を務めるトランペットの大久保恵里さん(3年)も「今年の4月を百点満点でゼロとしたら、県大会の8月上旬は40点。さらに課題を克服して、今日は70~80点くらいまで成長できた」と、表情は晴れやか。挑戦を始めてまだ2年。これからどんどん成長していく。(岡野彩子)



2014年9月7日(月)朝日新聞